

点検・評価の様式（手引版雛形）

政府統計コード	00450201
基幹・一般の別（選択記入）	特定一般統計調査
調査の名称	最低賃金に関する実態調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択（複数選択可）	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> その他
特記事項	

## ① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>☐ 1.調査の目的</li> <li>☐ 2.調査対象の範囲 ※</li> <li>☐ 3.報告者数等※ <span style="font-size: small;">{ 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 }</span></li> <li>☐ 4.報告事項とその基準期日 ※ <span style="font-size: small;">{ 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 }</span></li> <li>☐ 5.報告の方法 ※ <span style="font-size: small;">{ 報告を求めるために用いる方法 }</span></li> <li>☐ 6.報告を求める期間 ※</li> <li>☐ 7.集計事項 ※</li> <li>☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※ <span style="font-size: small;">{ 調査結果の公表の方法及び期日 }</span></li> <li>☐ 9.使用する統計基準</li> <li>☐ 10.調査票情報の保存 <span style="font-size: small;">{ 調査票情報の保存期間及び保存責任者 }</span></li> <li>☐ 11.立入検査 <span style="font-size: small;">{ 基幹統計調査のみ }</span></li> </ul>	( 全項目整合 )
-----------------------------	---	-----------------

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②に記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 課題なし</li> <li>□ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）</li> <li>□ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）</li> </ul>
---	---

	見直し・改善の概要(自由記入)	見直し・改善の内容（左記の類型） (該当するものを選択、複数選択可能)	見直し・改善の対応方法・手段 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)
記入欄 No. 1	「厚生労働省統計標準ガイドライン」の「別紙 第4章・第6章 業務マニュアル改定等手順書・統計実施計画書作成手順書」や、調査実施後の関係者からの意見を踏まえ、拡充スケジュールを策定し、次回調査実施時期（令和8年）までに業務マニュアルの拡充を行う。	調査計画の見直し・改善 ○ 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 ○ 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定
記入欄 No. 2	委託業者等からの意見聴取を実施した結果、オンライン調査票の回収率向上に関する意見が寄せられた。これを踏まえ、調査対象者の回答しやすさ向上及び実施者の確認迅速化のため、次回調査実施時期（令和8年）に向けて、エクセル形式電子調査票のHTML化の委託事業を実施中。	調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 ○ 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 ○ DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み ○ その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 ○ 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

### ③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は3回前の調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	達成精度	賃金改定状況調査については、ランク別 (各都道府県を最低賃金引上げ額の目安に おいて3つに分けたもの)及び産業別に目 標回収率を過去の実績をもとに設定してい る。最低賃金に関する基礎調査について は、都道府県別に過去の実績をもとに目標 回収率を設定している。 ※参考：令和6年調査における目標回収率 賃金改定状況調査：36.1% 最低賃金に関する基礎調査：56.2%	令和3年	令和6年調査 賃金改定状況調査 31.4% 最低賃金に関する基 礎調査48.9%	令和5年調査 賃金改定状況調査 32.0% 最低賃金に関する基 礎調査50.6%	令和4年調査 賃金改定状況調査 29.9% 最低賃金に関する基 礎調査47.7%
	○ 回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
設定なし						